

チャレンジ精神に満ちた
パッケージングソリューション・プロバイダー

2022年12月期第3四半期決算説明資料

資料構成

1. 2022年12月期第3四半期トピックス

2. 2022年12月期第3四半期業績概要

3. 参考資料



1. 2022年12月期第3四半期トピックス

3Q業績総括 ①

【業績】

- 連結売上高は、112億25百万円（前年同期比6.4%減）
- 連結営業利益は、6億74百万円（前年同期比52.7%減）
- EBITDAは、14億23百万円（前年同期比34.8%減）

【特徴】

- 日本は、1Qの新型コロナまん延防止措置による影響、3Qの第7波による感染者数増加の影響などから、お客様の発注が慎重になり売上減少
- 中国は、ゼロコロナ政策による3月下旬からの上海ロックダウンの影響を受け、売上が大幅に減少。下期も受注が低調に推移しており挽回に至らず
- インドは、ネット販売の伸長によりインド国内の化粧品市場が拡大した影響を受け、売上2億10百万円（前年同期比110.8%増）と拡大
- サステナビリティ関連の売上は、リサイクルに適した素材の容器や詰替え容器の伸びが牽引し、環境関連売上が10億20百万円(連結売上高の9.1%)と前年同期比15.2%増に拡大

1. 2022年12月期第3四半期トピックス

3Q業績総括 ②

【日本】

- 売上については、新規開拓や既存のお客様への新製品提案等の施策を実行するも、新型コロナウイルス感染症の影響をカバーするに至らず、84億78百万円(前年同期比7.6%減少)となった
- 一方で、顧客の環境意識の一層の高まりに加えて、当社の環境対応容器ラインナップ・品揃えの充実により、環境対応容器売上が続伸
- 特に、リサイクルに適した素材を使用した容器、バイオマス原料を活用した容器、詰替え容器は、前年同期比12.0%増(国内ベース)
- コスト面では、資源高の影響から原材料費及び水道光熱費が増加したことで原価率が上昇
- 営業利益については、諸経費の見直しなど販管費の抑制に取り組むも、粗利額減少の影響が大きく、7億14百万円(前年同期比39.9%減少)と減益に

1. 2022年12月期第3四半期トピックス

3Q業績総括 ③

【中国】

- 3月下旬からロックダウンしていた上海・昆山だが、5月上旬に昆山での生産が再開、6月に上海での営業活動への制限が緩和された。ただし、生活者の消費意欲減退は回復せず、売上挽回に至らず
- 昨年実施された化粧品条例の経過措置終了(※)に向けて、化粧品会社が既存在庫商品の販売に注力しており容器受注が減少
(※) 化粧品条例では成分表示等を厳格化しており、経過措置期間終了後は条例不適合の商品が販売禁止となる予定である。
- 売上高は、24億90百万円（人民元ベースの売上で前年同期比18.8%減少、円安効果を加味した円換算ベースでも前年同期比6.3%減少）。また、生産量の減少から、工場の稼働効率が低下し粗利が悪化、営業損失となる

【インド】

- ネット販売の伸長によりインド国内の化粧品市場が拡大した影響に加えて、アイテム数の多さなど、営業活動を通じて当社の特徴が浸透し、新規顧客数は大幅増に。売上も2億10百万円と拡大
- 売上増で収益性は好転しているものの、原材料価格の値上がりに加えて、好景気に伴う労働力の逼迫から労務費が上昇したことで、利益水準が低下

1. 2022年12月期第3四半期トピックス

3Q業績総括 ④

【グループファイナンスの概要と損益への影響】

- 中国の子会社2社から当社に対して、配当(合計5,000万元)を実施し、日本及びインド拠点の資金需要に充当（グループ内の資金移動）
- 日本及びインドにおける資金使途は、以下の通り
 - 日本：投資内容／茨城県結城事業所の生産棟増設、成形機・金型投資
目的／環境対応容器の開発・拡充、生産機能の充実、自動化・省力化の推進
 - インド：投資内容／成形機、金型投資など
目的／需要増に対応した生産数量の増加
- 中国の子会社からの配当に関する経営方針の決定に伴い、連結決算で中国子会社の留保利益を対象とした繰延税金負債（約2億円）を計上し法人税等調整額が増加
- 直ちにキャッシュアウトが伴う事象ではないものの、純利益に対して2億円相当のネガティブインパクトが発生（第3四半期計上済）

1. 2022年12月期第3四半期トピックス

今後の方向性

【サステナビリティへの取組みを加速】

カーボンニュートラル、サーキュラーエコノミー（循環経済）に配慮した新製品開発を加速させることで、顧客の環境対応ニーズを先取りした提案型営業を推進する2030年ビジョンでは、環境対応容器の売上比率として全売上の90%超を見込んでいる

<新製品開発の例>

- リサイクルに適した素材(Recyclable素材) への移行
- 高価なバイオマス原料でも、薄肉・軽量化によりコストアップを抑えた容器の開発
- 詰替えやすい容器の開発

【EU地域向けのECサイトの立ち上げ】

デジタル戦略を加速させる取り組みの一つとして、EU地域でのECサイト開設を予定

- ターゲット：スタートアップ企業（小ロット需要への対応）
- 差別化要素：小口注文への対応、即納提供、環境対応容器を中心とした品揃え
- 在庫戦略：250種類超を在庫し、即納体制を構築

資料構成

1. 2022年12月期第3四半期トピックス

2. 2022年12月期第3四半期業績概要

3. 参考資料



2. 2022年12月期第3四半期業績概要

2022年12月期第3四半期連結決算ハイライト

	2021年第3四半期 (1-9月期) ¥16.79/RMB ¥108.58/USD	2022年第3四半期 (1-9月期) ¥19.38/RMB ¥128.30/USD (※2)	前年同期比		2022年計画比 (※1)	
			増減	増減率	増減	増減率
売上高	百万円 11,988	百万円 11,225	百万円 ▲762	▲6.4%	百万円 ▲1,352	▲10.8%
営業利益	1,425	674	▲750	▲52.7%	▲732	▲52.0%
売上高営業利益率	11.9%	6.0%	▲5.9P	—	▲5.2P	—
経常利益	1,492	805	▲687	▲46.0%	▲621	▲43.6%
四半期純利益	975	303 (※3)	▲671	▲68.9%	▲678	▲69.1%
減価償却費	755	748				
原材料費	1,554	1,725				
設備投資額 (うち 金型)	464 185	407 133				
EBITDA	2,181	1,423				
EBITDA比率	18.5%	12.7%				

(※1) 2022年計画比の数値は、期初に設定したもの

(※2) 収益認識基準の変更に伴い、2022年第1四半期から有償支給した支給品等に係る収益は認識しない方法に変更済

(※3) 繰延税金負債2億円の計上の影響

2. 2022年12月期第3四半期業績概要

地域別グループ企業業績

単位：百万円

日本	2021年第3四半期	2022年第3四半期	前年同期比		計画比	
			増減	増減率	増減	増減率
売上高	9,173	8,478	▲694	▲7.6%	▲966	▲10.2%
営業利益	1,189	714	▲475	▲39.9%	▲438	▲38.0%
営業利益率	13.0%	8.4%	▲4.5P	—	▲3.8P	—

<日本>

・リピート受注減、新型コロナまん延防止の行動制限等の影響に加え、第7波による新規感染者数の増加により、お客様の需要が回復せず、売上は84億78百万円にとどまる

中国	2021年第3四半期 ¥16.79/RMB	2022年第3四半期 ¥19.38/RMB	前年同期比		計画比	
			増減	増減率	増減	増減率
売上高	2,658 (158)	2,490 (128)	▲167 (▲29)	▲6.3% ▲18.8%	▲467 (▲45)	▲15.8% ▲26.2%
営業利益	274 (16)	▲22 (▲1)	▲297 (▲17)	▲108.3% ▲107.2%	▲316 (▲18)	▲107.8% ▲106.8%
営業利益率	10.3%	▲0.9%	▲11.3P	—	▲10.8P	—

<中国>

・ゼロコロナ政策継続により不安感が先行、消費者心理低下で顧客需要も低調に推移
・3月後半以降の上海、昆山などの行動制限では資材調達、製品輸送に影響あり。5月初旬には昆山、6月には上海でロックダウン解除も、生産量、販売額ともいまだ挽回に至らず低調

※（）内はRMBベース:百万円

その他地域	2021年第3四半期 ¥108.58/US\$ ¥129.87/€ ¥1.48/INR ¥3.45/TB	2022年第3四半期 ¥128.30/US\$ ¥136.05/€ ¥1.67/INR ¥3.70/TB	前年同期比		計画比	
			増減	増減率	増減	増減率
売上高	361	403	+41	+11.6%	▲20	▲4.9%
営業利益	▲43	▲21	+24	—	+44	—

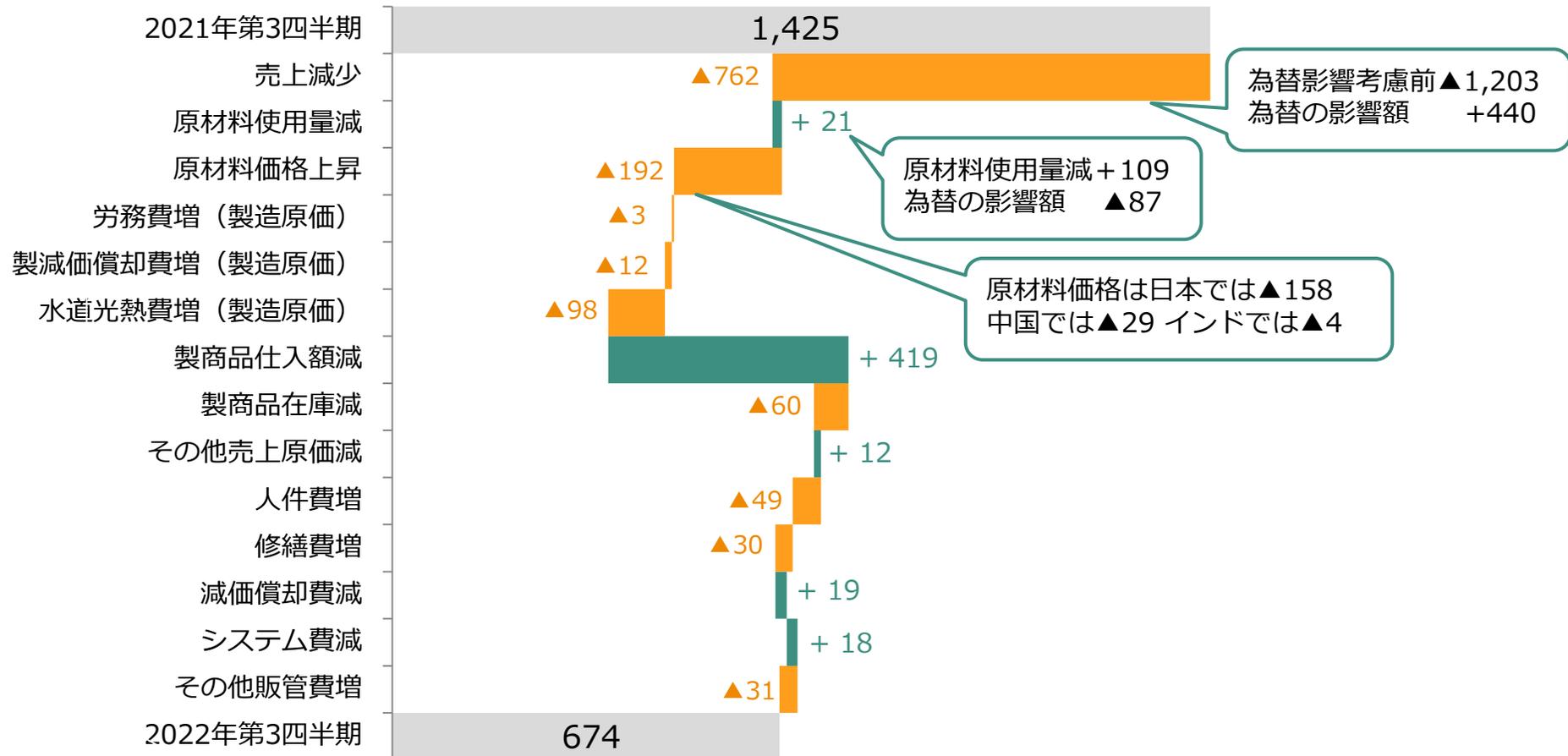
<その他地域>

・アメリカは売上・営業利益とも計画比、昨年比減で推移。燃料費高騰による運送費増も懸念材料
・オランダは売上・営業利益とも計画比、昨年比減で推移。運送費の高騰が受注に影響
・インド国内化粧品市場が活況、製品拡充効果もあり、新規顧客を取込み、需要増。売上は計画比、昨年比増で推移。原油価格の高騰による原材料価格上昇対策として価格転嫁を推進

2. 2022年12月期第3四半期業績概要

2022年12月期第3四半期 営業利益の変動分析

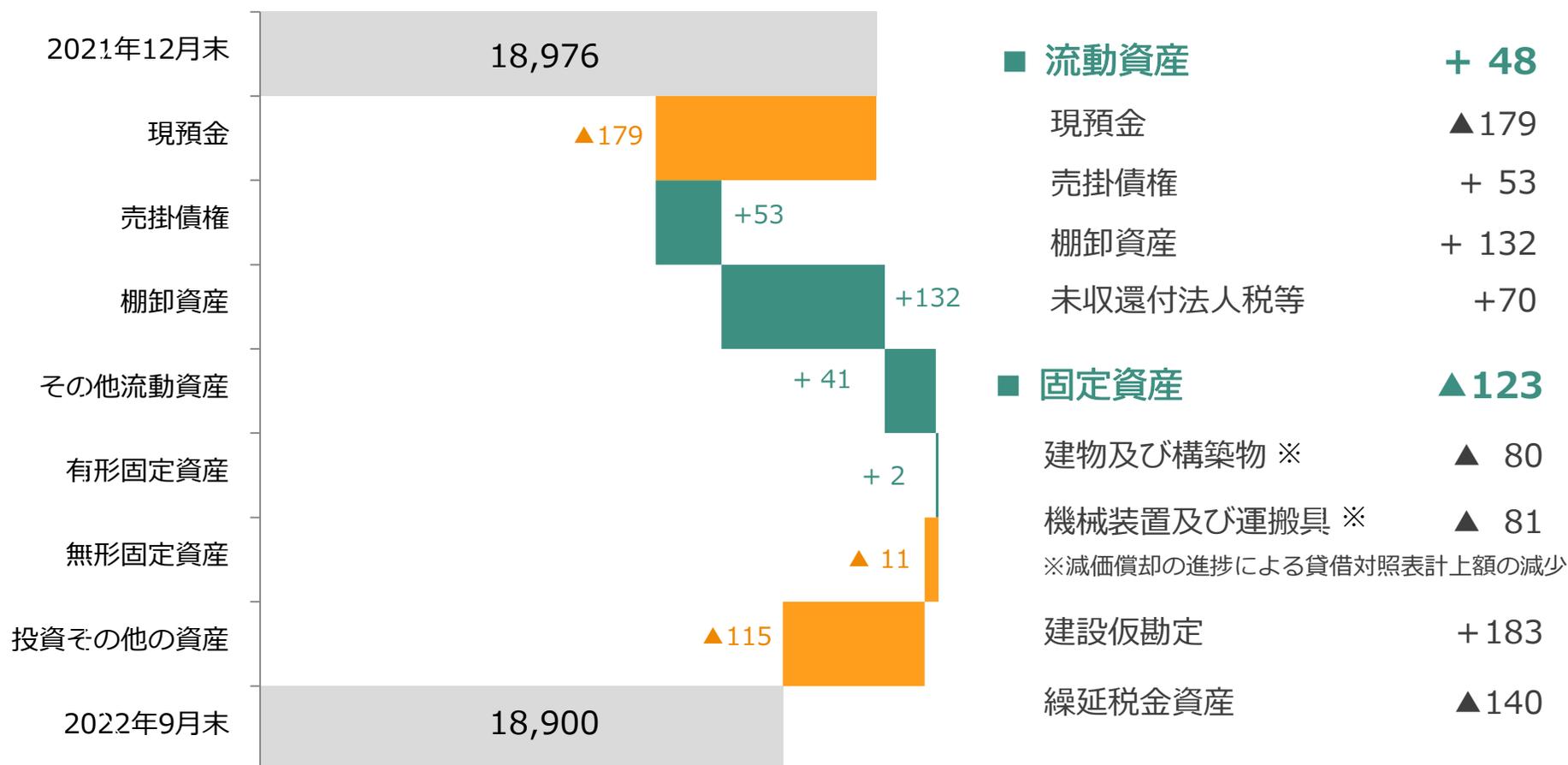
単位：百万円



2. 2022年12月期第3四半期業績概要

2022年12月期第3四半期 連結貸借対照表 資産の部

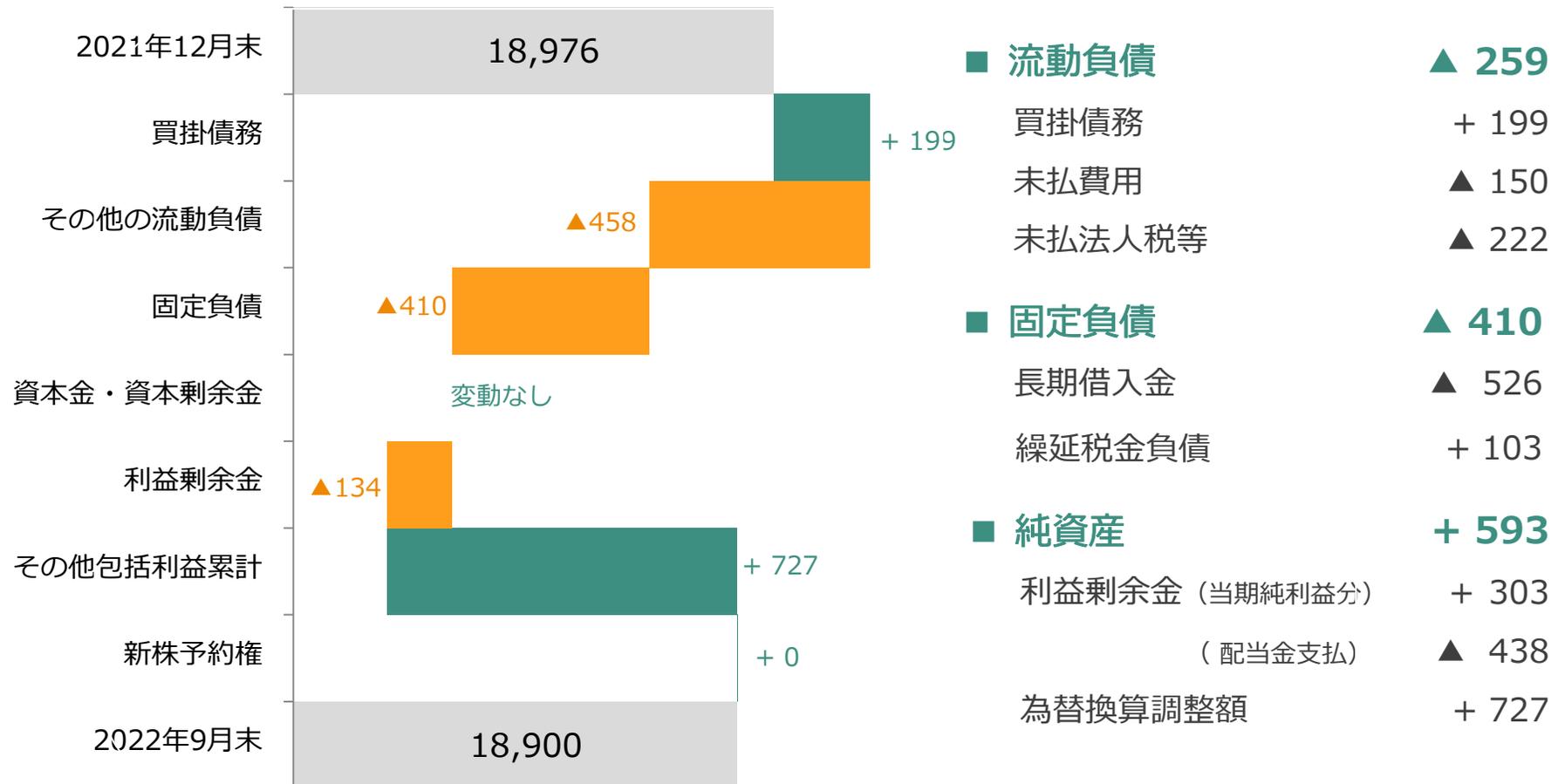
単位：百万円



2. 2022年12月期第3四半期業績概要

2022年12月期第3四半期 連結貸借対照表 負債・純資産の部

単位：百万円



資料構成

1. 2022年12月期第3四半期トピックス

2. 2022年12月期第3四半期業績概要

3. 参考資料



3. 参考資料

地域別グループ企業業績（2020年からの四半期推移）

(百万円)

地域		2020年 第1四半期	2020年 第2四半期	2020年 第3四半期	2020年 第4四半期	2021年 第1四半期	2021年 第2四半期	2021年 第3四半期	2021年 第4四半期	2022年 第1四半期	2022年 第2四半期	2022年 第3四半期
日本	売上高	2,814	3,042	2,885	2,909	2,890	3,086	3,196	2,832	2,669	2,923	2,885
	粗利額	928	1,076	1,001	910	997	981	1,037	925	817	881	828
	営業利益	315	475	423	215	410	327	451	296	220	267	225
中国	売上高	604	954	852	736	871	911	875	886	850	650	989
	粗利額	177	337	270	208	254	282	204	230	229	107	182
	営業利益	56	207	132	76	112	126	35	60	59	▲58	▲23
欧米	売上高	50	32	50	50	61	105	66	64	70	39	44
	粗利額	11	8	9	12	13	21	14	12	17	13	13
	営業利益	▲3	▲4	▲1	▲0	0	7	1	▲6	4	0	0
その他 アジア	売上高	8	22	21	57	38	48	40	53	75	83	89
	粗利額	▲8	▲10	▲13	▲7	▲2	3	0	0	11	12	14
	営業利益	▲30	▲30	▲33	▲25	▲20	▲13	▲19	▲21	▲9	▲9	▲9
連結	売上高	3,425	3,993	3,747	3,696	3,803	4,079	4,105	3,787	3,606	3,653	3,965
	粗利額	1,110	1,412	1,264	1,125	1,263	1,288	1,257	1,169	1,077	1,014	1,040
	営業利益	340	649	521	267	503	450	472	328	277	202	195

3. 参考資料

地域別グループ企業業績（2017年からの年間推移）

(百万円)

地域		2017年		2018年		2019年		2020年		2021年	
		金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率
日本	売上高	11,018	+8.3%	12,063	+9.5%	11,741	▲2.7%	11,651	▲0.8%	12,005	+3.0%
	粗利額	3,344	+10.7%	3,669	+9.7%	3,730	+1.7%	3,917	+5.0%	3,942	+0.6%
	営業利益	1,077	+18.0%	1,242	+15.3%	1,277	+2.8%	1,429	+11.9%	1,485	+3.9%
中国	売上高	3,094	+17.2%	3,921	+26.7%	3,438	▲12.3%	3,149	▲8.4%	3,544	+12.5%
	粗利額	862	+7.9%	1,102	+27.8%	1,003	▲9.0%	993	▲1.0%	971	▲2.2%
	営業利益	337	+0.3%	515	+52.9%	433	▲15.8%	472	+8.9%	335	▲29.0%
欧米	売上高	350	+81.7%	289	▲17.5%	164	▲43.0%	184	+12.0%	297	+61.2%
	粗利額	82	+62.5%	69	▲16.1%	40	▲40.8%	41	+1.7%	62	+49.4%
	営業利益	34	+278.2%	▲8	—	▲31	—	▲10	—	3	—
その他 アジア	売上高	27	+735.3%	33	+23.4%	69	+106.5%	109	+57.7%	181	+64.7%
	粗利額	9	—	▲25	—	▲49	—	▲39	—	2	—
	営業利益	▲39	—	▲119	—	▲147	—	▲119	—	▲74	—
連結	売上高	14,201	+11.0%	16,022	+12.8%	15,196	▲5.2%	14,863	▲2.2%	15,776	+6.1%
	粗利額	4,301	+11.0%	4,817	+12.0%	4,726	▲1.9%	4,912	+3.9%	4,979	+1.4%
	営業利益	1,412	+12.2%	1,630	+15.5%	1,538	▲5.7%	1,778	+15.6%	1,754	▲1.3%

3. 参考資料

区分別販売実績（2020年からの販売先の主要事業内容ごとの四半期推移）

(百万円)

	2020年 第1四半期	2020年 第2四半期	2020年 第3四半期	2020年 第4四半期	2021年 第1四半期	2021年 第2四半期	2021年 第3四半期	2021年 第4四半期	2022年 第1四半期	2022年 第2四半期	2022年 第3四半期
化粧・美容	1,955	2,154	2,006	2,031	2,054	2,399	2,380	2,069	2,109	2,293	2,315
日用・雑貨	209	263	250	295	249	232	229	219	217	205	215
食品・ 健康食品	280	351	365	349	352	356	389	372	323	326	346
化学・医薬	187	240	235	243	243	244	340	267	200	199	217
卸、その他	791	983	890	776	903	845	765	859	754	628	870
合計	3,425	3,993	3,747	3,696	3,803	4,079	4,105	3,787	3,606	3,653	3,965

区分別販売実績（2020年からの製商品の内訳ごとの四半期推移）

(百万円)

	2020年 第1四半期	2020年 第2四半期	2020年 第3四半期	2020年 第4四半期	2021年 第1四半期	2021年 第2四半期	2021年 第3四半期	2021年 第4四半期	2022年 第1四半期	2022年 第2四半期	2022年 第3四半期
スタンダード ボトル	2,611	3,014	2,763	2,725	2,791	2,980	2,993	2,920	2,754	2,750	2,960
ビスポーク	288	373	371	357	352	366	417	280	312	292	385
他社製品	472	551	567	567	583	679	634	489	497	598	564
材料その他	53	54	44	46	75	52	60	98	40	12	54
合計	3,425	3,993	3,747	3,696	3,803	4,079	4,105	3,787	3,606	3,653	3,965

3. 参考資料

区分別販売実績（2017年からの販売先の主要事業内容ごとの年間推移）

2018年はインバウンド需要もあり売上高は過去最高を記録。2019年は中国のEC規制がきっかけとなり化粧品需要が減少。さらに容器不足に起因する先行調達の反動もあり売上高は大幅減少。2020年は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、外出機会の減少による化粧品向け需要が減少。一方、衛生関連用品の需要が増加。2021年は環境対応容器の伸びも後押しし化粧品向けを中心に売上が拡大

(百万円)

	2017年			2018年			2019年			2020年			2021年		
	金額	構成比	増減率												
化粧・美容	8,512	59.9%	7.9%	9,651	60.2%	13.4%	8,802	57.9%	▲8.8%	8,147	54.8%	▲7.4%	8,904	56.4%	9.3%
日用・雑貨	685	4.8%	9.6%	697	4.4%	1.8%	705	4.6%	1.0%	1,019	6.9%	44.5%	930	5.9%	▲8.7%
食品・健康食品	1,221	8.6%	5.8%	1,310	8.2%	7.3%	1,385	9.1%	5.7%	1,347	9.1%	▲2.8%	1,470	9.3%	9.1%
化学・医薬	661	4.7%	8.6%	838	5.2%	26.6%	812	5.3%	▲3.1%	906	6.1%	11.7%	1,096	7.0%	20.9%
卸、その他	3,119	22.0%	23.7%	3,523	22.0%	13.0%	3,490	23.0%	▲1.0%	3,442	23.2%	▲1.4%	3,374	21.4%	▲2.0%
合計	14,201	100.0%	11.0%	16,022	100.0%	12.8%	15,196	100.0%	▲5.2%	14,863	100.0%	▲2.2%	15,776	100.0%	6.1%

3. 参考資料

受注実績 (2020年からの四半期推移)

(百万円)

	2020年 第1四半期	2020年 第2四半期	2020年 第3四半期	2020年 第4四半期	2021年 第1四半期	2021年 第2四半期	2021年 第3四半期	2021年 第4四半期	2022年 第1四半期	2022年 第2四半期	2022年 第3四半期
国内	3,439	3,184	2,916	3,037	3,380	3,474	2,600	2,924	2,904	3,086	2,894
海外	741	1,058	1,008	921	996	1,006	951	1,264	787	926	865
(うち中国)	656	1,008	922	803	875	869	872	1,070	676	781	735
連結合計	4,181	4,243	3,924	3,959	4,376	4,480	3,551	4,189	3,691	4,012	3,760

受注実績 (2017年からの年間推移)

2018年はインバウンド需要もあり容器需要が旺盛で受注は増加。2019年は容器不足に起因する先行調達の反動と中国のEC規制の影響で受注は大きく低迷。2020年は新型コロナウイルス感染症の影響により外出機会が減少し、化粧品向け需要が減少するも衛生関連用品の需要が増加。2021年は環境対応容器の需要増あり。年度後半は第5波の影響もあり国内受注が減少

(百万円)

	2017年		2018年		2019年		2020年		2021年	
	受注高	増減率	受注高	増減率	受注高	増減率	受注高	増減率	受注高	増減率
国内	11,771	15.5%	13,608	15.6%	10,815	▲20.5%	12,454	15.2%	12,274	▲1.4%
海外	3,646	21.6%	3,875	6.3%	3,812	▲1.6%	3,597	▲5.6%	4,034	12.1%
(うち中国)	3,313	10.5%	3,610	9.0%	3,598	▲0.3%	3,258	▲9.5%	3,504	7.6%
連結合計	15,417	16.9%	17,484	13.4%	14,627	▲16.3%	16,051	9.7%	16,308	1.6%

3. 参考資料

為替レート (PL使用レート)

	2020年 第1四半期	2020年 第2四半期	2020年 第3四半期	2020年 第4四半期	2021年 第1四半期	2021年 第2四半期	2021年 第3四半期	2021年 第4四半期	2022年 第1四半期	2022年 第2四半期	2022年 第3四半期
円／元	15.59	15.38	15.37	15.48	16.38	16.67	16.79	17.04	18.31	18.97	19.38
円／米ドル	108.86	108.23	107.55	106.76	106.09	107.82	108.58	109.90	116.34	123.14	128.30
円／ユーロ	120.08	119.31	120.93	121.88	127.81	129.89	129.87	129.91	130.40	134.39	136.05
円／ルピー	1.51	1.47	1.46	1.45	1.47	1.48	1.48	1.50	1.56	1.62	1.67
円／バーツ	3.48	3.43	3.41	3.42	3.50	3.50	3.45	3.44	3.52	3.65	3.70

3. 参考資料

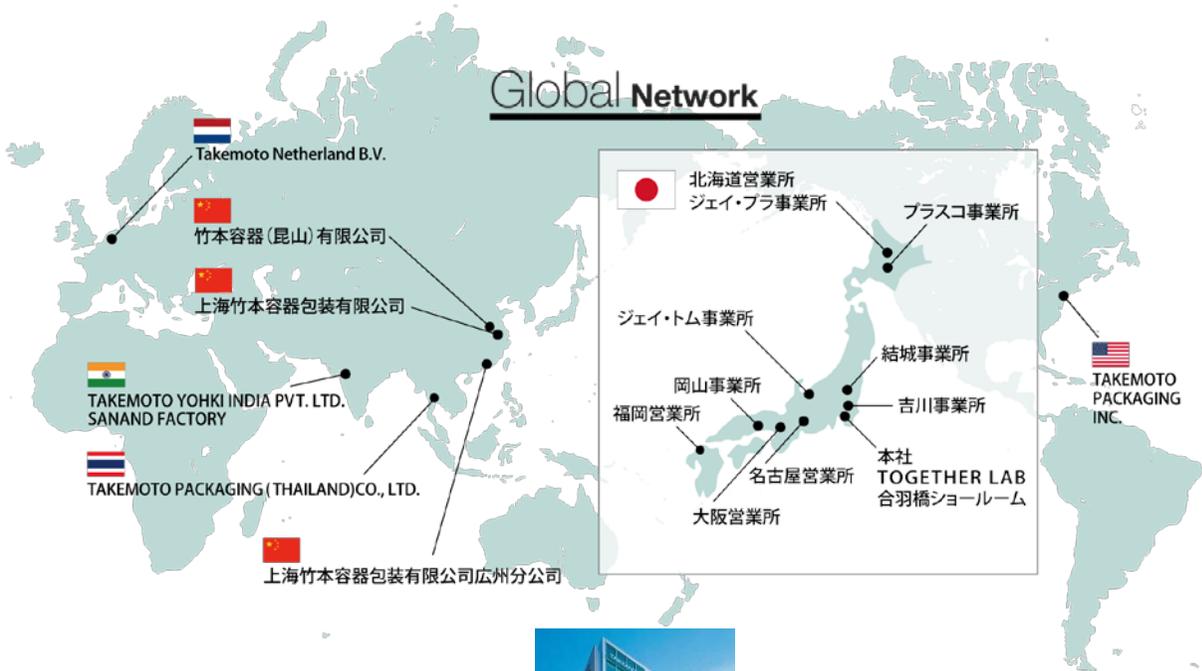
金型開発状況 金型の資産状況

3,773型の保有金型のうち約9割は償却済み、収益の源泉であり財務効率に優れる。オランダの金型は日本へ移動

		2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年(3Q)	(金型数)
日本	完成金型数	152	123	59	97	93	53	
	廃却・移動	▲30	▲54	▲80	▲99	▲16	▲23	
	保有金型数	2,273	2,342	2,321	2,319	2,396	2,426	
中国	完成金型数	106	96	74	84	89	16	
	廃却・移動	▲22	9	7	▲159	▲8	▲19	
	保有金型数	998	1,103	1,184	1,109	1,190	1,187	
オランダ	完成金型数	-	-	19	4	-	-	
	廃却・移動	-	-	-	-	▲23	-	
	保有金型数	-	-	19	23	-	-	
インド	完成金型数	-	18	27	48	45	22	
	廃却・移動	-	-	-	-	-	-	
	保有金型数	-	18	45	93	138	160	
連結	完成金型数合計	258	237	179	233	227	91	
	保有金型数	3,271	3,463	3,569	3,544	3,724	3,773	
		2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年(3Q)	(百万円)
連結取得金額		4,706	4,875	4,827	4,654	5,003	5,298	
連結減価償却累計額		▲4,048	▲4,147	▲4,175	▲4,163	▲4,453	▲4,759	
連結金型(純額)		657	727	651	490	550	539	
純額割合		14.0%	14.9%	13.5%	10.3%	11.0%	10.2%	



竹本容器株式会社
代表取締役社長
竹本 笑子



会社名 竹本容器株式会社
Takemoto Yohki Co., Ltd.

設立年月 1953年5月19日（昭和28年）

代表者 代表取締役社長 竹本 笑子

所在地 東京都台東区松が谷2丁目21番5号

事業内容 プラスチック製等の包装容器の製造及び販売

資本金 8億342万1,725円（2022年6月30日現在）

発行済株式数 12,529,200株（2022年6月30日現在）

単元株主数 7,944名（2022年6月30日現在）

グループ従業員数 895名（2022年6月30日現在）

上場市場 東京証券取引所プライム市場

[証券コード：4248]

ホームページ <https://www.takemotopkg.com>



JQA-FC0115
結城事業所
食品用プラスチック
容器の製造
(印刷製品は除く)



JMAQA-F 477
JMAQA-FC 376
岡山事業所
食品用プラスチック
容器の製造



本社



合羽橋ショールーム



大阪営業所・ショールーム



福岡営業所・ショールーム



名古屋営業所・ショールーム



北海道営業所



TOGETHER LAB

本資料に掲載されている将来に関する記述の部分は、資料作成時において当社が各種情報により判断した情報ではありますが、その内容を当社として保証するものではありません

予想数字等は、今後の経済情勢、市場動向等の変化による不確実性を含有しております。また、本資料は投資勧誘を目的に作成したものではありません
投資を行う際は、ご自身のご判断で行って頂きますようお願い申し上げます

すべては “ Standout ” な
パッケージングソリューション
創造のために